



## 2023年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月12日

上場会社名 ルーデン・ホールディングス(株)  
コード番号 1400 URL <http://www.ruden.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
四半期報告書提出予定日 2023年5月12日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-6455-2938

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	819	55.0	12		8		81	
2022年12月期第1四半期	528	22.0	14		14		16	

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 93百万円 ( %) 2022年12月期第1四半期 16百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	6.30	
2022年12月期第1四半期	1.25	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	2,949	2,469	79.5
2022年12月期	2,959	2,392	76.1

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 2,345百万円 2022年12月期 2,252百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		0.00		0.00	0.00
2023年12月期					
2023年12月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,447	33.0	5		34		105		8.11
通期	2,683	18.2	1		36	92.8	103		7.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2023年5月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年12月期1Q	13,008,600 株	2022年12月期	13,008,600 株
2023年12月期1Q	200 株	2022年12月期	200 株
2023年12月期1Q	13,008,400 株	2022年12月期1Q	13,008,400 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあり、緩やかな持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられ、依然として不透明な状況にあります。

一方、当社グループの既存事業と密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場におきましては、当第1四半期連結累計期間の契約率は2ヶ月連続して70%を超えた（出典「株式会社不動産経済研究所」）ものの、供給戸数は前年同期比15.9%減（出典「株式会社不動産経済研究所」）となり、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、既存取引先とのさらなる関係強化及び新規法人開拓の強化に注力してまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高819百万円（前年同四半期比55.0%増）、営業利益12百万円（前年同四半期は営業損失14百万円）、経常利益8百万円（前年同四半期は経常損失14百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益81百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失16百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①ハウスクエア事業

ハウスクエア事業に関しましては、密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場が厳しい状況で推移いたしました。マンションデベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力するとともに、中古マンション市場や代理店事業の拡大をはかるとともに販管費の削減に努め、売上・利益ともに、順調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるハウスクエア事業の経営成績は、売上高177百万円（前年同四半期比53.7%増）、営業利益30百万円（同106.0%増）となりました。

#### ②ビル総合管理事業

ビル総合管理事業に関しましては、求人募集費及び材料費並びに人件費の増加に伴う経費増があったものの、新規現場の獲得等があり、比較的順調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるビル総合管理事業の経営成績は、売上高419百万円（同2.7%増）、営業利益21百万円（同45.3%増）となりました。

#### ③総合不動産事業

総合不動産事業に関しましては、コンドミニアムの販売があり、順調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における総合不動産事業の経営成績は、売上高223百万円（同4,304.8%増）、営業利益18百万円（同4,763.0%増）となりました。

#### ④その他事業

その他事業に関しましては、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるその他事業の経営成績は、売上高はありませんでした（前年同四半期の売上高はありませんでした）。営業損失0百万円（前年同四半期は営業損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,991百万円となり、前連結会計年度末に比べ107百万円減少いたしました。これは主に売掛金が44百万円、その他が36百万円増加したことなどによる一方、販売用不動産が181百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は957百万円となり、前連結会計年度末に比べ97百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が101百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は2,949百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は342百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が15百万円増加したことなどによる一方、未払金が12百万円、その他が11百万円減少したことなどによるものであります。固定負債は138百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円減少いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が78百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総負債は480百万円となり、前連結会計年度末に比べ86百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,469百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益81百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は79.5%（前連結会計年度末は76.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想に関しては、現時点では、新型コロナウイルス感染症が当社グループ業績に与える影響について、適正かつ合理的な算定の実施が困難なため、連結業績予想値には織り込んでおりません。連結業績予想については、本日（2023年5月12日）で公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。また、今後、当社グループ業績に与える新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が重大と見込まれることが明らかになった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,267,987	1,275,056
受取手形、売掛金及び契約資産	298,101	342,901
有価証券	512	—
販売用不動産	237,170	55,174
仕掛販売用不動産	152,159	152,159
仕掛品	949	898
原材料及び貯蔵品	4,895	4,361
短期貸付金	3,500	3,500
未収入金	19,787	7,213
その他	114,090	150,645
流動資産合計	2,099,154	1,991,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	90,710	90,710
減価償却累計額及び減損損失累計額	△78,902	△79,159
建物及び構築物（純額）	11,807	11,551
機械装置及び運搬具	3,368	3,368
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,277	△3,300
機械装置及び運搬具（純額）	91	68
工具、器具及び備品	7,849	7,849
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,138	△7,220
工具、器具及び備品（純額）	711	629
土地	3,248	3,248
リース資産	7,274	7,274
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,637	△4,950
リース資産（純額）	2,636	2,323
有形固定資産合計	18,495	17,820
無形固定資産		
その他	403	403
無形固定資産合計	403	403
投資その他の資産		
投資有価証券	742,966	844,464
出資金	681	681
関係会社長期立替金	149,040	149,040
破産更生債権等	140,359	138,680
損害賠償請求権	70,057	70,057
その他	99,456	65,328
貸倒引当金	△361,585	△328,792
投資その他の資産合計	840,976	939,460
固定資産合計	859,875	957,685
資産合計	2,959,029	2,949,594

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	67,740	83,090
短期借入金	2,600	2,600
未払金	175,248	162,319
未払法人税等	8,956	3,657
預り金	18,910	16,429
賞与引当金	—	2,885
アフターコスト引当金	110	122
その他	82,620	71,050
流動負債合計	356,186	342,155
固定負債		
長期借入金	78,978	80,048
役員退職慰労引当金	78,605	—
退職給付に係る負債	12,894	13,558
繰延税金負債	38,752	43,798
その他	1,306	949
固定負債合計	210,537	138,355
負債合計	566,723	480,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,262,878	2,262,878
資本剰余金	795,231	795,231
利益剰余金	△896,679	△814,761
自己株式	△290	△290
株主資本合計	2,161,140	2,243,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,887	102,855
その他の包括利益累計額合計	90,887	102,855
新株予約権	140,279	123,169
純資産合計	2,392,306	2,469,083
負債純資産合計	2,959,029	2,949,594

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	528,590	819,428
売上原価	380,360	606,239
売上総利益	148,230	213,189
販売費及び一般管理費	163,110	200,700
営業利益又は営業損失(△)	△14,879	12,488
営業外収益		
受取利息	1	0
受取手数料	—	61
還付加算金	—	37
その他	324	16
営業外収益合計	325	116
営業外費用		
支払利息	51	43
為替差損	18	4,322
控除対象外消費税	0	2
その他	—	100
営業外費用合計	71	4,469
経常利益又は経常損失(△)	△14,625	8,135
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	—	78,605
新株予約権戻入益	—	17,110
特別利益合計	—	95,715
特別損失		
貸倒引当金繰入額	1,085	1,085
上場契約違約金	—	20,000
特別損失合計	1,085	21,085
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△15,710	82,764
法人税、住民税及び事業税	1,047	1,110
法人税等調整額	△518	△263
法人税等合計	528	847
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,239	81,917
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,239	81,917



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,239	81,917
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112	11,968
その他の包括利益合計	△112	11,968
四半期包括利益	△16,351	93,886
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,351	93,886
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ハウスケ ア事業	ビル総合 管理事業	総合不動 産事業	計				
売上高								
顧客との契約 から生じる収 益	115,289	408,238	5,063	528,590	—	528,590	—	528,590
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	115,289	408,238	5,063	528,590	—	528,590	—	528,590
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	115,289	408,238	5,063	528,590	—	528,590	—	528,590
セグメント利益 又は損失(△)	14,928	14,882	371	30,182	△132	30,049	△44,929	△14,879

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△44,929千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△44,929千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ハウスケ ア事業	ビル総合 管理事業	総合不動 産事業	計				
売上高								
顧客との契約 から生じる収益	177,206	419,201	223,020	819,428	—	819,428	—	819,428
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	177,206	419,201	223,020	819,428	—	819,428	—	819,428
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	177,206	419,201	223,020	819,428	—	819,428	—	819,428
セグメント利益 又は損失(△)	30,745	21,625	18,086	70,456	△12	70,444	△57,955	12,488

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△57,955千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△57,955千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。